MITSUBISHI

三菱白熱灯器具

白熱灯ペンダント

形名 LP2752 LP2752R LP2753R LP2754 LP2799N
LP3724 LP3725 LP3726 LP3727 LP3728

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
・ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、「三菱電機お客さま相談窓口一覧表」とともに大切に保存し、必要な時にお役立てください。

取扱説明書

⚠ 安全上のご注意

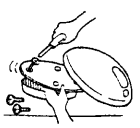
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください

図記号の意味は次のとおりです

禁止		接触禁止	
厳守		分解禁止	

⚠警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの

分解・改造はしない 火災・感電の原因 	引火する危険のある雰囲気で使わない 可燃性スプレーを吹き掛けない 火災の原因	金属などを差し込まない 器具のすきまやソケット部にヘアピンや針金・可燃物などを差し込まない 火災・感電の原因
ランプ交換・お手入れのときは電源を切る 感電の原因	異常時は電源スイッチを切る　炎がでたり、変な臭いがしたらすぐスイッチを切る 火災・感電の原因	布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせない 火災の原因
器具・ランプを水洗いしない 火災・感電の原因	引掛シーリングボディに欠け、割れ、木ねじのゆるみがあると 火災・落下の原因	

⚠注意

誤った取扱いをしたときに、損害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

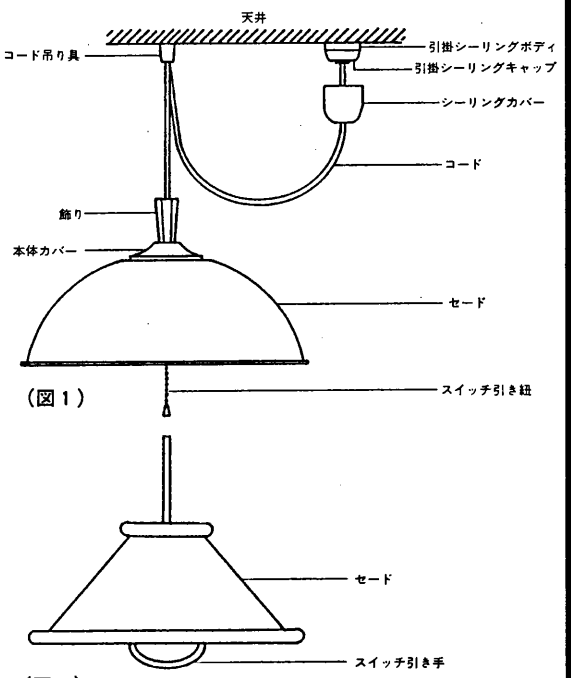
高温(40℃以上)な場所で使わない 落下・感電・火災の原因	傾斜天井に取付けない 落下・火災の原因	長期間使わないときは電源を切る 感電・火災の原因
使用済みランプは不用意にわらない ガラスの破片が飛散けがの原因	ランプのガラス、口金部分を強くねじらない ガラスの破損によりけがの原因	強い振動・衝撃のある場所で使わない　器具破損により 落下の原因
電気工事はしない 感電の原因 有資格者に取付けを依頼	電源アダプターから直接ペンダントを吊り下げない 落下の原因	器具表示の指定W(ワット)数を超えるランプは使わない　過熱して 火災の原因
点灯中及び消灯直後のランプにはさわらない 高温のためやけどの原因	ランプに塗料などを塗らない　ランプが過熱、破損してけがの原因	安全にご使用頂くために半年に一回の保守・点検を行う

仕　様

定格電圧	消費電力	適合ランプ	口金	適合豆球	点灯順序
100V	95W	ホワイトボールランプG95　100W×1	E−26		点灯ー消灯
	114W	ホワイトボールランプG95　60W×2		5W	2灯ー1灯ー豆球ー消灯
	171W	ホワイトボールランプG95　60W×3		5W	3灯ー1灯ー豆球ー消灯
	190W	ホワイトボールランプG95　100W×2		5W	2灯ー1灯ー豆球ー消灯

各部のなまえ

この図は、共通化のため、一部省略抽象化してあります。
セード、シーリングカバーは器具によって異なります。



（図１）

（図２）

電気工事

⚠安全上の注意

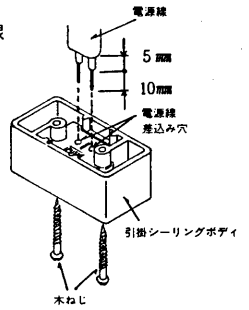
⚠警告

- 電気工事は技術基準・内線規定に従い行う。
- 速結式の電源接続は、指定太さの電源線を指定長さに被覆を剝がし奥まで差込む
  接続不良は、感電・火災の原因

⚠注意

- 電源は交流100ボルト以外で使わない。
  火災・感電の原因
- 木ねじを、板厚の薄い所や、強度の弱い所にねじ込まない。
  器具落下の原因

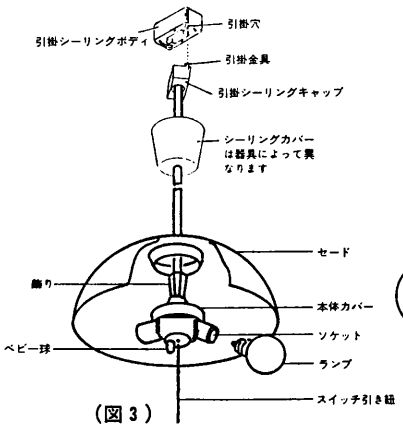
(1)引掛シーリングボディの電源線差込穴に電源線を確実に差込んでください。
（適合電源は単線のφ1.6とφ2.0です。）
(2)付属の木ねじ２本で引掛シーリングボディをしっかり天井に取付けてください。



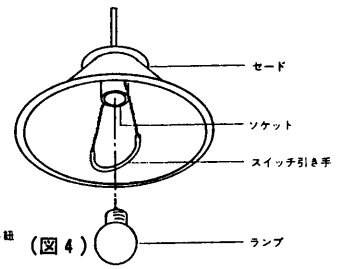
取付けかた

■器具の取付方法

●図３の場合
(1)図３のようにセード上面開口部より引掛シーリングカバーを引き出し、本体カバーにセードを乗せます。
(2)引掛シーリングの引掛金具を引掛穴に合わせ、引掛シーリングのキャップを右にひねって器具を吊り下げてください。（電源に接続されます。）
(3)シーリングカバーを天井まで押しあげてください。
(4)ソケットにランプをねじ込んでください。



（図３）

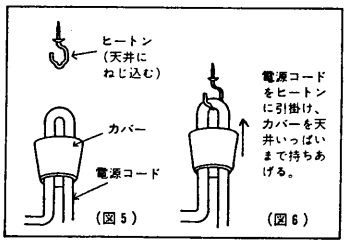


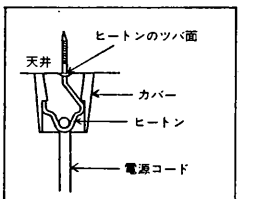
（図４）

●図４の場合
(1)ランプをカバーしている補強段ボールをはずしてください。
(2)引掛シーリングの引掛金具を引掛穴に合わせ、引掛シーリングキャップをひねって器具を吊り下げてください。（電源に接続されます。）
(3)シーリングカバーを天井まで押し上げてください。
(4)ランプをはずした場合には、ソケットにランプをねじ込んでください。

■コード吊り具付の場合

(1)器具の吊り下げ位置を決めヒートンを天井に確実にねじ込んでください。
(注)ヒートンはできるだけ天井のしっかりした面と垂直にヒートンが変形しないように注意してヒートンのツバ面までねじ込んでください。
(2)器具の吊り高さを決め図５のように電源コードをカバーに通してください。
(3)カバーに通した電源コードを図６のようにヒートンに引掛けてください。
(4)最後にカバーを天井まで持ち上げ強く押し上げますとヒートンのふくらみにカバーが固定されます。





コード吊り具取付断面図

お手入れのしかた

プラスチックや金属部分の汚れは、柔らかい布でぬるま湯か石けん水につけてよくしぼってからふきとってください。木や竹などの部分はハケやブラシでていねいに落してください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯などは使用しないでください。

アフターサービス

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買い上げの販売店か最寄りの三菱電機お客様相談センターへお問合わせください。

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247 神奈川県鎌倉市大船5-1-1
☎0467-41-2726 住宅照明営業課